

|   |                                 |                                    |
|---|---------------------------------|------------------------------------|
|  | <b>PepsiCo, Inc.</b>            | 発効日:2014年5月15日<br>最終改訂日:2024年10月1日 |
|   | 表題:<br><b>報復禁止に関するグローバルポリシー</b> | ページ1/2                             |
| 部門/作者: 法務部/コンプライアンス&倫理部   |                                 |                                    |

ペプシコは、ペプシコの倫理と誠実さの文化を維持するために誠実に行動する者をあらゆる形式の報復から保護することを約束します。

## 対象範囲

本報復禁止に関するグローバルポリシーは、すべてのペプシコ・アソシエイトに適用されます。ペプシコ・アソシエイトは全従業員と定義され、ペプシコの連結子会社の従業員、およびペプシコにサービスを提供する際の請負業者を含みます。

## 報復の禁止

ペプシコは、ペプシコの倫理と誠実さの文化を支持する個人または組織に対して、アソシエイトが直接間接を問わず報復することを固く禁じています。個人または組織は、誠意を持って以下を行う場合、ペプシコの倫理と誠実さの文化を支持していることとなります。

- ペプシコのグローバル行動規範(「規範」)、ポリシーまたは法に対する実際の違反もしくは違反の疑いについて、規範に記載されているいずれかの報告手段を介してまたは政府当局に対して、報告する場合、報告する意思を表明する場合、および/または他の個人または組織が報告する際に支援する場合。
- 実際の違反もしくは違反の疑いに関する社内または政府の調査に協力する場合、もしくは社内または政府の手続きに参加する場合。
- 特定のビジネス慣行、決定または行動に関して質問または懸念を提起するか、助言を求める場合。

## 報復の定義

本ポリシーにおいて、報復とは、ペプシコの倫理および誠実さの文化を支持する個人または組織の意欲を削ぐような行為や罰則を与えるような行為を意味します。これには以下が含まれます。

- 個人の雇用機会を奪う意図的な行為、またはペプシコ従業員としての現在もしくは将来の地位やペプシコでの雇用条件に悪影響を及ぼす意図的な行為。
- 請負業者またはサプライヤーからペプシコにサービスや商品を提供する機会を奪う意図的な行為、またはサービスや商品の提供条件に悪影響を及ぼす意図的な行為。
- ペプシコまたは政府機関に善意で懸念を提起した個人または組織、もしくは調査に参加した個人または組織に対する、法的措置、意図的な事業または経済上の報復、評判への危害、脅迫、威嚇、暴力。

本ポリシーは、ペプシコ従業員の業績に基づく措置など、当社の通常の適法なビジネス慣行を制限するものではありません。

|   |                                 |                                    |
|---|---------------------------------|------------------------------------|
|  | <b>PepsiCo, Inc.</b>            | 発効日:2014年5月15日<br>最終改訂日:2024年10月1日 |
|   | 表題:<br><b>報復禁止に関するグローバルポリシー</b> | ページ2/2                             |
| 部門/作者: 法務部/コンプライアンス&倫理部   |                                 |                                    |

## 違反の報告

本ポリシー違反の疑いがある場合は、人事部代表者または法務部もしくはコンプライアンス&倫理部の担当者に報告する必要があります。また、違反の疑いがある場合は、スピークアップ・ホットライン (<http://www.pepsicospeakup.ethicspoint.com>) を通じて報告することもできます。

## 政府機関への報告に対する制限なし

本ポリシーまたはこれ以外に定める規定はいずれも、アソシエイトの雇用期間中または雇用期間後、もしくは請負業者サービスの提供期間中または提供期間後のいずれかに関わらず、社内または政府機関内における本規範または法律の違反の可能性について懸念を提起することを禁止するものではありません。

また、本ポリシーまたはその他のペプシコのポリシーもしくは契約に定める規定はいずれも、雇用期間中または雇用期間後のいずれかに関わらず、従業員が本規範または適用法の違反の可能性について政府機関に通知すること、政府機関に情報提供すること、政府機関に苦情申し立てを行うこと、政府機関による調査もしくは手続きに協力することを制限するものではありません。

## ポリシー違反の結果

本ポリシーに違反したすべてのペプシコ社員は、最悪の場合雇用契約の終了を含む、懲罰処分の対象となる可能性があります。場合によっては、禁止されている報復が法にも違反し、社員が刑事罰または民事罰の対象となることもあります。

禁止行為をした請負業者は、当社への請負業者サービスの提供をできなくなる可能性があります。

## 質問がありますか？

スピークアップに関する詳細については、[スピークアップに関するよくある質問](#)を参照してください。本ポリシーに関する懸念は、セクター、地域、または事業部門のコンプライアンス&倫理責任者に提起してください。また、コンプライアンス&倫理部 ([PepsiCoComplianceandEthics@pepsico.com](mailto:PepsiCoComplianceandEthics@pepsico.com))宛にメールを送ることもできます。